

當國ノ形勢タル、東南大洋ニ面シ、西方ハ海ヲ隔テ、伊豆相模ノ二國ト相對シ、一大海港ヲナセリ、北ノ一方高山峩々トシテ相連リ、上總ト國界ヲ接ス、

〔日本地誌提要^{十九}安房^{十九}疆域 北ハ上總、東西南ハ海ニ至ル、東西拾里、南北七里、

〔房總志料^二安房^二〕鋸山上總天羽郡、此山を越ぬれば安房地平郡也、^略○中

一長狹郡小塚村より、上總周准郡鹿野山へ行路に、木の根といふ絶頂あり、是則房總の界也、それよりくだれば、上總天羽郡實村と云所に至る、行程二里、關村安房より上總の地、天神山への路なり、

〔房總志料^上總^四附錄^四〕一房總の界は、安房の地長狹郡小湊浦と、上總夷瀨郡大澤浦との間をいふ也、

〔房總志料^五安房^五附錄^五〕一長狹郡に壤を接せる上總の郡は、夷瀨望陀の二郡なり、平郡は天羽と接せり、

島嶼

〔日本實測錄^九島嶼^九〕安房國長狹郡 遠測 辨天島 ^{小湊} 辨天島 ^{磯村}

安房郡 遠測 沖島 タカノ島

平郡 遠測 雀島 浮島

地勢

〔易林本節用集^下安房^州房^州〕中管四郡、南北一日半、山河原野田里平均、魚貝多、是以田糞用之、大中國也、

〔房總志料^二安房^二〕安房の地方四郡のうち、其土沃壤なるは、長狹郡を第一とす、次は安房郡、其次は平郡、朝夷郡は半は負海の地也、

〔房總志料^五安房^五附錄^五〕一安房の輿地考へがたし、如何となれば、海灣迂曲、廣狹幾といふことさだかならず、大抵東小湊浦より西淵崎まで、十二里許もありぬべし、南北は妻郎の鼻より鋸山まで、七八里といへども、是又山道直路の地ならざれば、詳なる事不可知、

一安房の山は、極めて崇峻、然れども本州より望に、獨清澄山のみ見ゆ、其他は不見、如何となれば、彼